

# 宮崎善仁会病院 リウマチセンターニュース

第48号 (2026年5月号 [2026/5/11 発行])

新緑が目には鮮やかな季節となりました。皆さま、いかがお過ごしでしょうか。宮崎では、やわらかな日差しと心地よい風に、初夏の気配が感じられる頃となりました。一方で、日によって気温差が大きいこともあり、体調を崩しやすい時期でもあります。どうぞ無理をなさらず、お健やかに過ごしてください。前号では、2026年4月から65歳以上の定期接種がプレベナー20に変わったことをお伝えしました。今回はその続編として、最近話題になっており、前回も少し紹介させていただいた、最新の肺炎球菌ワクチン、

## 「キャップボックス」

についてご紹介します。

### 【肺炎球菌とは】

肺炎球菌は、肺炎のほか、血液の中に菌が入り込む「侵襲性肺炎球菌感染症 (IPD)」の原因にもなる細菌です。とくに高齢の方や、心臓・肺・腎臓・肝臓の病気、糖尿病、免疫が低下しやすい状

態のある方では、重症化しやすいことが知られています。キャップボックスの添付文書でも、このような方々は接種を検討する対象として示されています。リウマチの患者さんでも、年齢や治療内容によっては感染症予防がより重要になります。

### 【キャップボックスの特徴】

キャップボックスは、21種類の肺炎球菌の血清型に対応した結合型ワクチンです。結合型ワクチンは、莢膜多糖体にキャリアタンパクを結合させた仕組みで、従来の多糖体ワクチンとは異なる免疫応答を誘導します。ニューモボックスのような多糖体ワクチンに比べ、プレベナーやキャップボックスのような結合型ワクチンは、より長く続く強い免疫が期待されるタイプとして説明されています。では、キャップボックスの特長は何でしょうか。2024年時点の成人IPD原因血清型に対するカバー率は、「キャップボックス 80.3%、プレベナー20 約55%、ニューモボックス 56.6%」と整理されています。また、キャップボックスは、プ

表 肺炎球菌ワクチン比較表

ワクチン名	定期接種か 任意接種か	種類	対応血清型数	特徴
プレベナー20	定期接種 (65歳の対象者など)	結合型ワクチン	20価 [1, 3, 4, 5, 6A, 6B, 7F, 8, 9V, 10A, 11A, 12F, 14, 15B, 18C, 19A, 19F, 22F, 23F, 33F]	2026年4月から高齢者の定期接種に用いられているワクチンです。結合型ワクチンのため、従来の多糖体ワクチンとは異なる仕組みで免疫をつくります。
キャップボックス	任意接種 (自費)	結合型ワクチン	21価 [3, 6A, 7F, 8, 9N, 10A, 11A, 12F, 15A, 15C(15BのO-脱アセチル化体), 16F, 17F, 19A, 20A, 22F, 23A, 23B, 24F, 31, 33F, 35B]	高齢者、または肺炎球菌感染症のリスクが高い成人に使われる結合型ワクチンです。プレベナー20に1種類足したのではなく、含まれる血清型の構成が大きく異なるのが特徴です。
ニューモボックスNP	任意接種	多糖体ワクチン	23価 [1, 2, 3, 4, 5, 6B, 7F, 8, 9N, 9V, 10A, 11A, 12F, 14, 15B, 17F, 18C, 19A, 19F, 20, 22F, 23F, 33F]	長く使われてきた23価多糖体ワクチンです。現在は高齢者の定期接種から外れ、任意接種の位置づけです。

プレベナー20では含まれていない血清型も多くカバーしており、高齢者で問題となる血清型を意識して設計されたワクチンです。

### 【キャップボックスの治療効果】

実際の臨床試験でも、キャップボックスは免疫応答をしっかり誘導することが確認されています。添付文書では、50歳以上の成人でプレベナー20と比較した海外第III相試験において、10の共通血清型で非劣性を満たし、11の非共通血清型のうち10血清型でプレベナー20に対する優越性基準を満たしたことが示されています。また、65歳以上でニューモバックスと比較した国内第III相試験でも、8つの非共通血清型で優越性が示されています。

### 【キャップボックスの位置づけ】

一方で、大切な点もあります。キャップボックスは現時点では定期接種のワクチンではありません。65歳の定期接種で用いられるのは、前号でお伝えしたとおりプレベナー20です。キャップボックスは任意接種（自費）の位置づけです。65歳でプレベナー20を定期接種し、その1年後以降にキャップボックスを任意接種することで、より広い血清型をカバーする考え方があります。また、プレベナー13・プレベナー15・プレベナー20既接種者については、1年以上の間隔で追加接種も考慮できます。

### 【キャップボックスの副反応】

副反応としては、添付文書上、注射部位の痛み、赤み、腫れ、疲労、頭痛、筋肉痛、発熱など

がみられることがあります。重いアレルギー反応はまれですが、過去に成分やジフテリアトキソイドで重いアレルギーを起こしたことがある方、発熱中の方、重い急性疾患のある方は接種できません。

### 【まとめ】

今回のポイントは、「定期接種はプレベナー20、より広い血清型カバーを考える際の追加選択肢としてキャップボックスがある」ということです。接種歴や年齢、基礎疾患、現在の治療内容によって、どのワクチンが適しているかは変わります。気になる方は、どうぞ外来でお気軽にご相談ください。

(日高利彦)

### 「日本リウマチ学会総会」が開催されました

さる令和8年4月22日(水)～24日(金)、福岡国際会議場等で第68回日本リウマチ学会総会・学術集会が開催されました。当院からは、日高利彦医師（演題名：「RAPID3でみるJAK阻害薬3剤の有効性」）、橋場弥生医師（演題名：「当院における関節リウマチ症例に対するフィルゴチニブの1年時評価」）、日高伸彦医師（演題名：「関節リウマチ患者におけるクレアチニンベースeGFRとシスタチンCベースeGFRの乖離要因の解析—見かけ”の腎機能低下と”真の”腎障害の判別—」）と当科の医師全員が発表を行いました。また、最新のリウマチ学の知識を得ることができ、今後の当院での診療に大いに役立つこととなると思います。

リウマチセンターニュースのバックナンバーの必要な方は当院の職員に気軽にお尋ね下さい。なお、当院のホームページでもバックナンバーを確認出来ます。

([https://www.m-zenjin.or.jp/publicity\\_cat/publicity\\_1](https://www.m-zenjin.or.jp/publicity_cat/publicity_1))

(QRコードは右の通り)

